

アリムタ・カルボプラチン・アバスタチン療法を受けられる方へ

呼吸器内科 ID: _____ 様

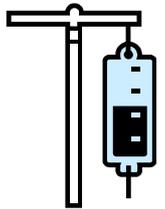


【投与スケジュール】

	1日目	2~21 又は 28日目
アリムタ	○	
カルボプラチン	○	
アバスタチン	○	

☆3~4週間ごとに繰り返し投与します。
 ☆検査の結果によりスケジュールや投与量が
 変わることがあります。

【点滴内容】



生食 100mL
 プロイメント 150mg

プロイメント : 吐き気を抑える薬です。

30分

デキサート 3.3mg
 アロキシバッグ 0.75mg
 ラニチジン 100mg

デキサート }
 アロキシ } : 吐き気やアレルギー症状を抑える薬です。
 ラニチジン }

30分

生食 100mL
 アリムタ mg

アリムタ }
 カルボプラチン } : がん細胞の増殖を抑える薬です。
 アバスタチン }

10分

生食 250mL
 カルボプラチン mg

60分

生食 100mL
 アバスタチン mg

30~90分

生食 50mL

5分



メコバラミン注 : アリムタの副作用を抑える薬です。
 《アリムタ投与1週間前から9週間に1回、筋肉注射》

【主な副作用と対策】

ｱﾌﾞﾌﾞｲｷﾝｼﾝ様症状：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

高血圧：血圧が高くなることがあります。
もともと血圧を下げる薬を飲んでいる方は特に注意してください。
自宅での血圧測定をお勧めします。



白血球減少：投与後7～14日頃に最も減少すると言われています。
白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、
風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、
うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。



赤血球減少：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。

血小板減少：投与後7～21日頃に最も減少すると言われています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

食欲不振・悪心・嘔吐：投与後～7日ほど現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与していますが、他の薬もありますのでつらい時には申し出てください。また、食事はおいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ、食べられる分だけ摂取するようにしましょう。



脱毛：脱毛が起こることがあります(10～20%程度)。投与後14～21日経つと抜け始めます。
治療終了後6ヶ月ほどで生えそろってきます。

便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。
下剤や便を軟らかくする薬も使います。

下痢：下痢をしている間は脱水にならないように水分を摂取しましょう。





口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

味覚障害：食べ物の味が変わって感じる場合があります。
治療が終了すれば徐々に治ります。

末梢神経障害：手足がしびれたり、痛みがでることがあります。
ボタンがかけにくい・字が書きにくいといった症状が出てくるようでしたらお知らせください。



発疹：皮膚が赤くなったり、かゆみが出ることがあります。
ひどい場合には知らせてください。



創傷治癒遅延：お薬の影響で傷が治りにくくなっていますので、怪我には十分注意しましょう。

血栓症：血栓ができやすくなっています。足がむくんだり、痛くなったり、突然息切れがするようなことがありましたら知らせてください。

粘膜からの出血：血が止まりにくくなっています。怪我には十分注意しましょう。圧迫止血などをして血が止まらない場合には連絡してください。血痰にも注意しましょう。

腸管穿孔：稀ですが腸に穴があいてしまうことがあります。今までに経験したことのないようなお腹の痛みがある場合には、我慢せず、病院へ連絡してください。

喀血：肺にある腫瘍から出血しているおそれがあります。すぐに連絡してください。

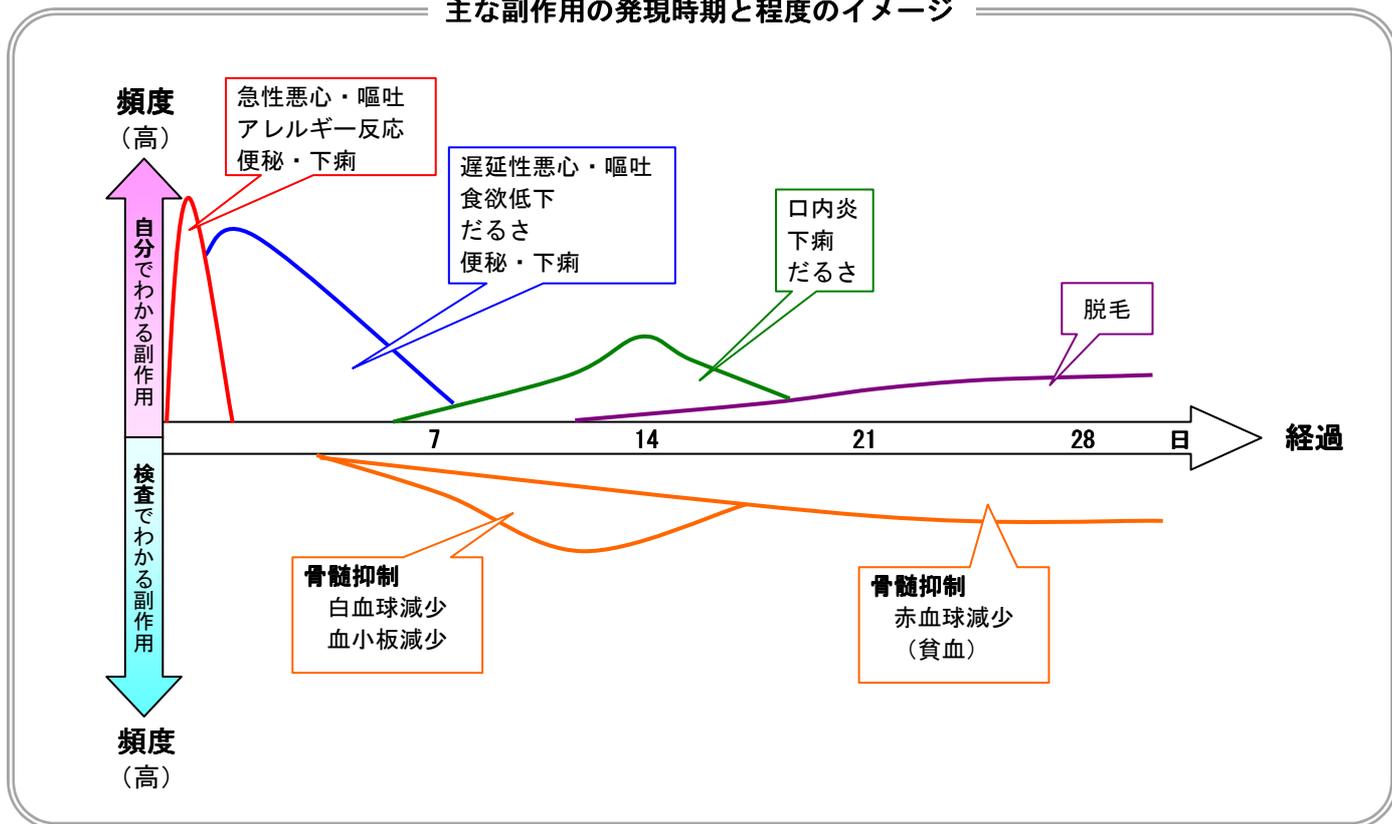
たん白尿：おしっこにたん白が混じることがあります。

腎・肝障害：お薬によって腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。

心障害：薬の影響で心臓に負担がかかる場合があります。

間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。

主な副作用の発現時期と程度のイメージ



【内服薬について】

* この治療を受けられる方には、副作用予防として内服薬が処方されます。

パンピタン末 : 1日1回 朝食後 1回1包 アリムタ投与1週間前から毎日内服
アリムタの副作用予防です。



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

